

PRO ARTE
MUSICAE



ArtistLineup 2025-2026



Salonorchester Alt, Wien

ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤークンサート

一年の計は本物が奏でるニューイヤークンサートにあり！
年間公演400回以上。ウィーンで抜群の人気を誇るオーケストラ

オーケストラ 23名・バレエ 2名・オペラ歌手 2名 | オーストリア



Haydn Philharmonie

ハイドン フルハーモニー

ハイドンが生涯楽長をつとめたエステルハーゼ宮殿を拠点に、オーストリア、ハンガリーから選出された音楽家で結成されたスペシャルオーケストラとしてスタート。巨匠指揮者アダム・フィッシャーからニコラ・アルトシュテットそしてエンリコ・オノフリへと引き継がれ、国際的に唯一無二の地位を確立している。

室内オーケストラ | オーストリア・ハンガリー



Stuttgarter Kammerorchester

ヨーロッパで最も長い歴史を持ち、往年の巨匠カール・ミュンヒンガーとの世界初となったヴィヴァルディ「四季」のレコード録音は一世を風靡した。薫りたつ古典名曲の数々を奏でる優美にして繊細、斬新なるアンサンブル!!

カール・ミュンヒンガーのレガシーを受け継ぐ17人の精鋭
シュトゥットガルト室内管弦楽団
弦楽アンサンブル | ドイツ



iTunes、Amazon、Spotifyで複数の1位に輝いたフロリダ、ディズニーワールド出身者が主なメンバーをつとめるの11名によるアカペラユニット。レパートリはディズニー映画、ミュージカルナンバー、キリスト教音楽、ポップス、合唱曲まで多岐にわたる。

ヴォクターヴ Voctave

ヴォーカルアンサンブル | アメリカ



GB

GERMAN BRASS 2025

世界最高のトランペットといわれるマティアス・ヘフスらで構成される伝説のデツェット。ファンから何度となく待望が叫ばれてきた。いよいよ2025年に日本再登場。絶対に聞き逃さないコンサートがあるとすればそれは正にこの達人たちのステージだ！ プログラムもバッハに代表される絶対バロックプログラムを準備中。

ジャーマンブラス

金管 10 重奏 | ドイツ



型破りなパフォーマンスと一級の演奏で笑いを引き起こすパフォーマンス集団。音楽による感動が国境を越えるように、心をくすぐるユーモアも、世界中で音楽とともに愛されている。

抱腹絶倒の究極パフォーマンス

ムノツィル・ブラス

金管 7 重奏 | オーストリア



ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、BBC交響楽団、フィルハーモニア、バーゼル交響楽団、オーロラ交響楽団などの首席奏者からなる、英国の新世代の金管楽器のトッププレイヤー集団。

セプトウーラ 7 人の英国金管騎士

金管 7 重奏 | イギリス



世界二大巨頭オーケストラ、ベルリン・フィルとウィーン・フィルのメンバーで発足した金管5重奏団。その縦横無尽のアンサンブル妙技はまさに世界最高峰双璧が放つ真鍮の響き。

ウィーン=ベルリン ブラスクインテット

金管 5 重奏 | ドイツ・オーストリア

Wien-Berlin Brass Quintett

THE 3 TENORS

クリスチャン・リンドバーグ
ジョセフ・アレッシ
イアン・バウスフィールド



©S.E. Shires



©Mats Bäcker



SZEGED
TROMBONE
ENSEMBLE

ハンガリー発、トロンボーン艦隊到来!
鮮烈にして重厚。マジヤールの息吹が日本へ

国際的ソリストのジビチャーンにより組織され、ルネサンス、古典、現代、ポピュラーまでも吹きこなす。アンサンブルは楽器の垣根を越え、ピアノ好きだろうが、ヴァイオリン好きだろうが、その演奏に痺れること間違いない。

セゲドトロンボーンアンサンブル

トロンボーンアンサンブル | オランダ



Trombone Unit Hannover

ドイツ音楽コンクールで優勝。燃え上がるような名人芸があり、正確さ、エネルギー、そして個性がある。ジャジーでアップビート、時にアヴァンギャルド、時に騒々しくファニー、ある時は繊細でサテンのようなサウンドを、またある時はドラマチックで素晴らしい音の壁を必要とする音楽を再現するスペシャルユニット。

2017年初来日にして、ネット動画の再生数が30万回を超え話題となった。



トロンボーン・ユニット・ハノーファー

トロンボーンアンサンブル | ドイツ



NEW
TROMBONE
COLLECTIVE

オランダ発。ヨルゲン・ファン・ライエンやブラント・アッテマら現代トロンボーン界を代表する名手がそろって挑戦のライドユニット。トロンボーンという楽器の新しいイニシアチブを模索し、真のトロンボーン奏者の「精神」を具現化したアンサンブルである。ともに楽器を開発し、ともに才能を刺激する結束の固い仲間たちによって、既存のジャズ、モダン、クラシックのレパートリーを損なうことなく、楽器、スタイル、演奏技術の驚くべきコンビネーションを披露し続けている。

ニュー・トロンボーン・コレクティヴ

トロンボーンアンサンブル | オランダ



シュテファン・シュルツと、彼の元に集まったウィーンフィル、ベルリンフィルのトロンボーン奏者たち。2024年発売の1stアルバムをひっさげ、世界屈指のトロンボーンアンサンブルがついに上陸!

ウィーン & ベルリン トロンボーン四重奏団

トロンボーンアンサンブル | ドイツ・アメリカ・オーストラリア・イタリア

もはや伝説と言うべき歴史をもち、現役中最も有名な金管5重奏団。グループの想像力と完璧な音楽性が、このクインテットを今日の地位に押し上げてきた。金管楽器の音と感動を聴衆に届けるコンサートの達人であり、観客を魅了するステージングと親密な関係を築いている。



カナディアン・ブラス

金管5重奏 | アメリカ・カナダ



スペインが生んだ情熱の金管5重奏団。結成30年を経て、フラメンコダンサーとギターを加えたステージは瞬間に本国でも大ヒット。その熱狂のエンターテインメントは目と耳と心を釘付けにして興奮させる。

スパニッシュブラス

金管5重奏 | スペイン



世界第一級のオーケストラ、ニューヨークフィルの金管5重奏団。金管楽器の名手が継承し続けるその明快かつ華麗で輝かしいアメリカン・サウンドは多くのファンを引きつけている。

ニューヨークフィル・ブラス・クインテット

金管5重奏 | アメリカ



名門パリ管の首席奏者による金管5重奏団。パステル画のようなクリアで色彩的な音色を備え、繊細な音楽と綾のある音色が魅力。フランス音楽のエスプリを感じさせる気品あふれる音色と音楽。

パリ管弦楽団ブラス・クインテット

金管5重奏 | フランス



オペラ座の木管五重奏団

THE
QUINTET
OF THE
OPERA

OPÉRA
NATIONAL
DE PARIS



木管5重奏 | フランス

©Jeff Ropars

ムノツイル・ブラススピノフ!
偶然が最高の物語を作り上げる
YouTube 再生回数合計10万回以上!

トーマス・ガンシュ/トランペット・フリーゲルホルン・ヴォーカル
レオンハルト・パウル/トロンボーン・パストランペット・ヴォーカル
アルベルト・ヴィーダー/テューバ

ヴィーダー, ガンシュ&パウル

ジャズ・ブラストリオ | オーストリア



WIEDER, GANSCH & PAUL

過剰な即興から生まれる最高のグルーブ
現代ウィーン最高峰のインプロヴィゼーション

ゲオルク・ブラインシュミット/コントラバス・ヴォーカル
ベンヤミン・シュミット/ヴァイオリン・ヴォーカル
トーマス・ガンシュ/トランペット・フリーゲルホルン・ヴォーカル

ブライン, シュミット&ガンシュ

Brein, Schmid & Gansch

ジャズトリオ | オーストリア



ウィーン脱力系人気ユニット。耳に心地よい音楽を流れるようにジャンルを行き来して届けてくれる。1995年に結成。弦楽四重奏団に倣って、グループは2本のクラリネット、バセットホルン、バスクラリネットという編成で、ウィーンフォルクスオーパー交響楽団首席のヘルムート・ヘードル、いずれもウィーン国立大学で教鞭をとるパート・ファンクハウザー、フーベルト・ザルムホファー、ヴォルフガング・コルンベルガーがメンバー。

クラリネット4重奏 | オーストリア



北ドイツの少年合唱団にルーツを持ち、現在ヨーロッパで最も注目されている声楽アンサンブル。絶対的な熟練度で、オルガンのような低音の深さから幽玄に浮かぶ高域まで驚異的な声域で聴衆を魅了。トレードマークは、あらゆる音楽のジャンルを超えて、鋭く調和したサウンド。

ア・カペラで聴くクリスマスソング **クアルトナル**

ヴォーカルアンサンブル | ドイツ



©Miss Sophie Photography

©Charles Best

Wayne Marshall

| UK

指揮台と鍵盤上での音楽性と多才さで世界的に活躍。最近の主な指揮活動としては、マルティン・グルービンガーが出演した有名なヴァルトビューネでのベルリン・フィル他枚挙に暇がない。ガーシュウィン、バーンスタインなど20世紀の作曲家の解釈で厚い信頼を得ている。

指揮/ピアノ/オルガン:

ウェイン・マーシャル | イギリス

OLA RUDNER

| SWEDEN

古典レパートリーの解釈と指揮は批評家や聴衆から最高の賞賛を受ける。オペラにも深い造詣を示しウィーン・フォルクスオーパーと度々来日。オーストラリアでの音楽活動が評価されオーストラリア連邦から100周年記念メダル賞を受賞。オーストリア共和国からはシルバーメダルオブメリットを授与されている。

指揮:

オーラ・ルードナー | スウェーデン

©Nancy Horowitz

©Bettina Salomon

BENJAMIN SCHMID

| AUSTRIA

「完全なヴァイオリニスト」という言葉はシュミットにとって過大な評価ではない。クラシックからジャズの即興演奏までの全時代を掌握する21世紀のマルチヴァイオリニスト。ウィーン・フィルをはじめとして著名オーケストラと協演。ザルツブルク音楽祭に定期的に出演。

ヴァイオリン:

ベンヤミン・シュミット | オーストリア

RAINER HONECK

| AUSTRIA

ウィーン・フィル最年長のコンサートマスターで、培われた音楽は彼の指揮活動にも反映されている。ソリスト、コンサートマスター、室内楽奏者、指揮者として至宝のウィーン音楽の伝統を感じさせてくれる。

ヴァイオリン/指揮:

ライナー・ホーネック | オーストリア

©Stephan Doleschal

TAMÁS VARGA

| HUNGARY

ウィーン・フィル首席チェロ奏者としてソロや室内楽を含め、長年輝かしい演奏キャリアを世界中で積み重ねている。ドゥダメルの招待で南米でのプロジェクトに参加し、ヨーロッパの各音楽祭での活躍も目覚ましい。

チェロ：タマーシュ・ヴァルガ | ハンガリー

©Julia Wesely

JULIA HAGEN

| AUSTRIA

ザルツブルグの名門ハーゲン一家のチェリストとしてデビュー。幾多のチェロ国際コンクールでも優勝し、ウィーン・コンツェルトハウス、チューリッヒ・トーンハレ、ロンドンのバービカン・センターなどでデビューを飾る注目の逸材。

チェロ：ユリア・ハーゲン | オーストリア

RAPHAELA GROMES

| GERMANY

2012年リヒャルト・シュトラウス・コンクール、2016年コンコルソ・フィオリンド・トリノの両コンクールで第1位。ヨーヨー・マをはじめとする著名音楽家に「勇気ある好奇心とエネルギー」と高く評価され支持を受けている。

チェロ：ラファエラ・グロメス | ドイツ

©WILDUNDLEISE.DE

©Nancy Horowitz

SELINA OTT

| AUSTRIA

若干20歳で超難関のARDミュンヘン国際音楽コンクール金管部門史上初の第1位優勝の快挙を成し遂げた、世界から注目を集める女流トランペッター。自然体に、軽く、まるで浮いているような音色はまさにトランペットの錬金術師。

トランペット：セリーナ・オット | オーストリア

GÁBOR TARKÖVI

| HUNGARY

元ベルリン・フィルの首席トランペット奏者、ソリスト。ソリストとして絶対的な信頼をおかれ、世界の著名オーケストラと協演。ロータリートランペットを用いた朗々として柔らかく美しい響きは、時として神々しささえ感じさせ、世界中のファンを虜にする。

トランペット：
ガボール・タルケヴィ | ハンガリー

2010年ARDミュンヘン国際音楽コンクールの優勝者。
シュターツカペレ・ベルリン、ベルリン・コンチェルトハウス・オーケストラ、
WDRケルン放送響の首席奏者を歴任。ソリストとして大活躍の逸材。

ホルン：
プジェミスル・ヴォイタ | チェコ



PŘEMYSL VOJTA
| CZECH REPUBLIC

ロンドン響、ウィーン・フィルの首席奏者からソリストとして、
その実力は現代の管楽器トップランナーの1人に挙げられる。

トロンボーン：
イアン・バウスフィールド | イギリス



IAN BOUSFIELD
| ENGLAND

トロンボーン・エンターテイナーとして世界に名だたる大御所。世
界中の作曲家からも多くの協奏曲を初演依頼され縦横無尽の活
躍。世界のオーケストラからソリストとして引っ張りダコの巨星。

トロンボーン/指揮：
クリスチャン・リンドバーク | スウェーデン



CHRISTIAN LINDBERG
| SWEDEN

ニューヨーク・フィルの首席奏者としても世界中にファンを
持つ、最も人気の高いカリスマプレイヤー。チック・コリア
の委嘱作品は日本のみならず世界で大きな話題を呼んだ。

トロンボーン：
ジョゼフ・アレッシ | アメリカ



JOSEPH ALESSI
| USA

トロンボーン界の若きトップランナー
10代前半で大手レーベルからCDをリリース。その後、わずか
18歳でロンドン響副首席。その後首席へと駆け上がり、現在
はソリストとして活躍。

トロンボーン：**ピーター・ムーア** | イギリス



PETER MOORE
| UK

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団首席奏者。世界屈指のトロンボーン奏者として様々なアンサンブルと共演。またソリストとしてワールドワイドな活躍をする名匠。

トロンボーン：
ヨルゲン・ファン・ライエン | オランダ

JÖRGEN VAN RIJEN
| THE NETHERLANDS



世界で唯一のフルタイム・テューバ・ソリスト。楽器の可能性とエンターテインメントを限りなく発展させてテューバ界のトップを走る。

テューバ：
エイステイン・ボーツヴィック | ノルウェー

OYSTEIN BAADSVIK
| NORWAY



リリー・ラスキー国際ハープコンクールでグランプリを獲り、現在ウィーン・フィル首席ハープ奏者として活躍。その美貌と演奏には国際的定評がある。

ハープ：
アンネレーン・レナエルツ | ベルギー

ANNELEEN LENAERTS
| BELGIUM



©Marco Borggreve

ショパンコンクールでのセンセーショナルから30年余り。既に円熟期を迎えたゲキチの電光石火は未だに進行中。超絶技巧と衝撃の音楽表現は人々を捉えて離さない。

ピアノ：ケマル・ゲキチ | クロアチア

KEMAL GEKIĆ
| CROATIA



巨匠リヒテルが賞賛した驚くべき天賦の才。あらゆる難曲を弾きこなすヴィルトゥオーゾのテクニックはアカデミックの最高峰に位置する。

ピアノ：
コンスタンチン・シェルバコフ | ロシア

KONSTANTIN SCHERBAKOV
| RUSSIA



©Jen-Pin

アシュケナーズに発掘された天才ピアニスト。その本能と才能は音楽の本質の美しさを描き出す。音色のバランスを操る魔術師。

ピアノ：
ペーター・ヤブロンスキー | スウェーデン



PETER JABLONSKI
| SWEDEN

©Anastasia Belina

彼の音は一度聴いたら忘れられないと言う。スイスから欧米に名だたる評価を残した彼の音楽はゴージャスかつ清楚なベルベットのような歌がある。父は世紀の歌手エルンスト・ヘフリガー。

ピアノ：アンドレアス・ヘフリガー | スイス



ANDREAS HAEFLIGER
| SWITZERLAND

©Marco Borggreve

大きな手から紡ぎ出す濃密で鮮やかな音世界は、あくまでも美しい響きを持っている。リリースした全てのCDは常に最高レベルで評価されている。

ピアノ：ヴァンサン・ラルドウレ | フランス



VINCENT LARDERET
| FRANCE

©Karis Kennedy

音楽の都ウィーンが誇る押しも押されもしない正統派ピアニスト。その彼が紡ぎ出す音楽と音は人の耳を奪う美しさで感動を呼ぶ。

ピアノ：
ゴットリーブ・ヴァリツシュ | オーストリア



GOTTLIEB WALLISCH
| AUSTRIA

©Stephan Polzer

今や押しも押されもせぬ世界のピアノデュオの先頭に立ち、1台4手、2台4手のほとんどのレパートリーを手中に収めている。ウィーン音大で後進の指導にもあたり、リスト国際音楽祭の主催者もつとめる。

ピアノデュオ・クトロヴァツ | オーストリア



PIANO DUO KUTROWATZ
| AUSTRIA

©Ferry Nielsen

邦人アーティスト

カラヤンが認めた稀有の才能、世界のオペラ舞台でも活躍



今村 能 [指揮]

Chikara Imamura, Conductor

ベルリン・フィル、ミラノ・スカラ座管、ウィーン・フィル管楽Ens.、ワルシャワ・フィル、ヘルシキ・フィル、リトアニア国立響、N響、読響、新日本フィル他欧米最高峰の交響楽団、世界12ヶ国・35楽団、全国24もの主要楽団を指揮。カラヤン・コンクール・ジャパンに入賞。ミラノ・カンテッリ国際指揮者コンクールでベスト4。フィテルベルク国際指揮者コンクール優勝。ポーランド国立歌劇場常任指揮者、アンサンブル金沢専属指揮者、東京ハルモニア室内オケ常任指揮者を歴任。尚美学園大学客員教授、フィルハルモニア多摩・多摩フィルハルモニア合唱団音楽監督。www.7b.biglobe.ne.jp/~chikaraimamura/

トップオーケストラで活躍した感性。心に染み入る、静謐な音楽



永峰 高志 [指揮/ヴァイオリン]

Takashi Nagamine, Conductor/Violin

1980年東京藝術大学卒業、N響入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍。2012年第32回有馬賞。2015年同団退団。新日本フィル、シティフィル、仙台フィル、山形響、新星日響(現東京フィル)などにコンサートマスターとして客演。ソリストとしてオーケストラ、室内楽等と共演

するかたわら、指揮者としての活動の場を広げる。シュトゥットガルト室内管弦楽団、N響メンバーによるオーケストラ、仙台フィルなどを指揮、いずれも高い評価を得る。国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授として後進の指導にもあたる。2010年より若手県久慈市文化会館アンバーホール芸術監督。

正統派ウィーン・スタイルの洗練されたピアノズム



今川 映美子 [ピアノ] Emiko Imagawa, Piano

桐朋女子高等学校音楽科卒業。桐朋学園大学音楽部在学中、ウィーン国立音楽大学首席入学。卒業後、同大学院にて研鑽を積む。スーク室内管弦楽団、ノルディック管弦楽団の他、国内において読響、東響、東フィル、新日フィル、ロイヤルメトロポリタン管弦楽団とは巨匠イェルク・デームスと共演。ピアノ協奏曲の夕べにおいては、一夜に3曲のピアノ協奏曲を演奏する。シリーズ「シュベルトピアノソナタ全曲演奏」、「フランスゆかりの作曲家たち」を開催。音楽の友誌コンサートベスト10に選ばれるなど好評を博した。5枚のCDはレコード芸術誌特選盤・準特選盤に選出され、高い評価を得ている。emiko-imagawa.com

日本ピアノ界の重要な人材を数多く育てた名教師。深みを極めた重厚な音楽



植田 克己 [ピアノ] Katsumi Ueda, Piano

東京藝術大学音楽学部及び大学院修了。在学中第38回日本音楽コンクール入賞。71年安宅賞、73年クロイツァー賞受賞。ドイツ・デトモルト音楽大学、ベルリン芸術大学に留学。77年ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位受賞。N響、都響、札響、ベルリン響、ドイツ・バハ・ゾリステンなどと共演。86年～05年「植田克己ベートーヴェンシリーズ」全27回を開催。浜松国際、ケルン国際、日本音楽コンクールなど、国内外のコンクールの審査員を務める。東京藝術大学名誉教授。上野学園大学特任教授。

天性の感覚がスペイン音楽に新たな創造をもたらす



大川 由美子 [ピアノ] Yumiko Okawa, Piano

ミュンヘン国立音楽大学・および同大学院マスターコース修了、ディプロマ取得。故カール・ゼーマン、故パウ・パドゥーラスコグ等の教えを受け長年暮らしたドイツの音楽を得意とする一方、スペインにて「ルイス・コレマン賞」(スペイン音楽最優秀演奏賞)を受賞し根幹からのラテン気質に目覚め、アルバニス、グラナダス、ファリャ、トゥリーナを得意とする。またドビュッシーやラヴェルの、スペイン風な作品にも定評がある。クラシックのみならずその場での即興演奏も行い、様々なジャンルの芸術家とのコラボレーションも行っている。

熟練のテクニックと感性、透明感溢れるスマートな音楽



白石 光隆 [ピアノ] Mitsutaka Shiraiishi, Piano

東京藝術大学、同大学院修了後、ジュリアード音楽院にて研鑽を積む。90年ジーナ・バッカウアー国際奨学金コンクール入賞。91年学内コンチェルト・コンペティションで優勝し、リンカーンセンターでジュリアード・オーケストラと協演。94年第63回日本音楽コンクール声楽部門にて木下賞(共演)受賞。その音楽性の高さには定評があり、国内外の共演者の信頼も厚い。CD〈ベートーヴェン ピアノソナタ集〉(組曲『展覧会の絵』)他多数。〈成田為三ピアノ曲全集〉は文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞。東京藝術大学、お茶の水女子大学非常勤講師。

類い稀な感性、情熱に彩られた芳醇な音楽



熊本 マリ [ピアノ] Mari Kumamoto, Piano

10歳でスペインへ渡る。王立マドリッド、ジュリアード、英国王立の各音楽院に学び、英ニューポート国際コンクール入賞。故ダイアナ妃からディプロマを授与される。その後チェコ・フィル、ベネズエラ交響楽団等と共演。2016年神奈川県マグカル大使就任。2021年はCD〈スーパーリングナイト・イン・スペイン〉を発表し高い評価を受ける。俳優とのコラボ、番組出演、執筆など多才な活動で幅広いファンに支持されている。大阪芸術大学・演奏学科教授。www.marikumamoto.com

これぞピアノデュオ! 卓越したテクニックと情熱の見事な融合



中井 恒仁 & 武田 美和子 [ピアノ・デュオ]

Nobuhito Nakai & Miwako Takeda, Piano Duo

日本で唯一、世界でも非常に稀な、ソロとデュオ共に「国際音楽コンクール世界連盟WFIMC」加盟のコンクールで入賞している夫婦ピアノデュオ。共に東京藝術大学、ミュンヘン音楽大学大学院修了後、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学にて研鑽を積む。99年にデュオを結成、マレー・ドラノフ国際2台ピアノコンクール(USA)第4位入賞。08年ショパン誌「2台ピアノを弾こう!」連載。CD〈ラフマニノフ組曲〉(MOZART)〈グラムース ハンガリー舞曲集&ワルツ集〉〈ファンタジー (レコード芸術特選盤)〉をリリース。NHK-FM、NHK-BSへも出演。14年、久留島武彦文化賞受賞。15年、ANA国際線機内オーディオ番組にてCDが放送される。共にフコク生命パートナーアーティスト。nakai-takeda.com

ジュネーヴから力強いバイタリティーと鮮やかな感性を発信



サヤ・ハシノ [ピアノ/オルガン/チェンバロ]

Saya Hashino, Piano/Organ/Cembalo

ジュネーヴを拠点に欧日亜においてソロ、古楽、室内楽、管弦楽、現代音楽に精通しあらゆる形態でジャンルレス、多彩な演奏活動を行う。ジュネーヴ音楽大学大学院首席卒業。ローザンヌ音楽大学においては現代音楽の客員教授を務めた。幅広い音楽ジャンルと文化における長年の経験からなる音楽解釈の深みは、スイスで高く評価されるキーボーディストとして名を馳せることにつながった。一方、音楽を他の芸術形態と融合させる新しい方法を探求し、2021年夏、国際芸術文化社会研究所を設立。学際的な文化活動もプロデュースする。https://saya.one

知性と音楽表現が織りなすイマージュ、日本で数少ないバーゼンドルファー・アーティスト



© 武藤章

久元 祐子 [ピアノ] Yuko Hisamoto, Piano

東京藝大を経て同大学院修了。ウィーン放送響、ウィーン・サロン・オーケストラ、響響、神奈川フィルなど国内外のオーケストラと多数共演。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。ブロードウッド（1810年頃製）、バーゼンドルファー（1829年製）、プレイエル（1843年製）、エラール（1868年製）などのオリジナル楽器を愛用。歴史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組む。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。「優雅なるモーツァルト」（レコード芸術特選盤、毎日新聞CD特薦盤）などCD16作をリリース。国立音楽大学・大学院教授、バーゼンドルファー・アーティスト。www.yuko-hisamoto.jp

日本を代表するリストのスペシャリスト



©Ayane Shindo

渡辺 健二 [ピアノ] Kenji Watanabe, Piano

東京藝術大学、同大学院修了。第43回日本音楽コンクール第1位。78年～83年ハンガリー、リスト音楽院に留学。その間、ミュンヘン国際コンクール、第1回日本国際音楽コンクール、リスト・バルトーク国際コンクールに入賞。ハンガリーの音楽文化の紹介と日本とハンガリーの文化交流に努めた功績により、86年にリスト記念メダル（ハンガリー政府）、2018年ハンガリー国功労勲章オフィサー十字形勲章受章。2005年～16年東京藝術大学理事、2005年～13年副学長を務め、2021年3月に定年退職。藝大ジュニア・アカデミーで指導のほか、北海道大学非常勤講師、東京藝術大学名誉教授。

品位に満ちた音楽 世界にはばたく天性のヴァイオリニスト



© 長田幸子

小林 響 [ヴァイオリン] Hibiki Kobayashi, Violin

2歳よりヴァイオリンを始め、14歳で単身イスラエルへ留学。ベルリン芸術大学を経てトント王立音楽院を首席で卒業。A.レブランク弦楽四重奏団入団。ルーヴン音楽コンクール第1位。フランス国立放送フィル、ヘルシンキ・フィル、チェコ・フィル室内管、イスラエル室内管、ハイデン・フィル他と協演、またボロディン弦楽四重奏団、ショスタコーヴィチ弦楽四重奏団、ヤノシュ・シュタルケル、ダン・タイ・ソンなどと共演。日本音楽財団よりストラディヴァリウス“ムンツ”を貸与された。05年よりカナダ・ケベック州ラバール大学客員教授。

数々のコンクール受賞歴を誇る、国際派ヴァイオリニスト



杉浦 美知 [ヴァイオリン] Michi Sugiura, Violin

ワシントンD.C.生まれ。幼少よりアメリカ各地のコンクールに優勝し、多くのオーケストラと協演。16歳でカーティス音楽院入学。在学中、イタリアのキジアーナ音楽院マスタークラスに参加。ディプロマ名誉賞受賞。メニューイン、モントリオール、エリザベト王妃、カール・フレッシュ、日本国際コンクールなどの著名な国際コンクールで受賞。ブリュッセル放送響、ヤナーチェク室内合奏団、シカゴ・シヴック響などとの共演、各地でリサイタルの他、NHK、RTB（ブリュッセル）、WMFT（シカゴ）放送局にも出演。

ブラームス国際コンクール優勝! 日本クラシック界の未来をリードする俊英



©Ayane Shindo

中村 太地 [ヴァイオリン] Daichi Nakamura, Violin

福岡県立小倉高等学校卒業後ウィーンへ渡り、ウィーン国立音楽大学、ベルギー・エリザベト王妃音楽大学にて学ぶ。第24回ブラームス国際コンクールで日本人初優勝を果たし、20歳の時にソフィアフィルハーモニー管弦楽団との共演でヨーロッパ・デビュー。以来、ヨーロッパと日本を中心に演奏活動を行い国内外の主要オーケストラと共演。辻本玲氏と佐藤卓史氏で結成しているトリオでの活動が評価されて（公財）青山音楽財団パロックザール賞受賞。

時空を超えた癒しのハーブ音楽



齋藤 葉 [ハーブ] Yo Saito, Harp

東京藝術大学、同大学院修了。スイス・ローザンヌ音楽院に留学。91年日本ハーブ・コンクール プロフェッショナル部門第2位。ソロ、アンサンブル、オーケストラ、スタジオ録音、放送など幅広い場での演奏活動を行う。CD〈Soft & Mild “Southern Cross”〉（ハーブが奏する幻想のケルト・アイルッシュミュージック）〈空侯KUGOまぼろしの和のハーブ〉〈泉〉〈星空のプロムナード〉をリリース。97年、(社)日本青年会議所よりJOYP大賞受賞。日本ハーブ協会理事。JASRAC 準会員。日本演奏連盟会員。横浜音楽文化協会会員。www.yo-saito.com

現代リコーダーで世界屈指の超絶技巧奏者



鈴木 俊哉 [リコーダー] Toshiya Suzuki, Recorder

アムステルダム・スヴェーリンク音楽院卒業。カルヴ国際リコーダーコンクール、オルフェウス・プライス現代音楽コンクール入賞。これまでに100曲以上の初演を行なう。01年ダラムシュタット現代音楽夏期講習に初のリコーダー講師として招かれる。CDはバリオ〈Gesti〉〈鈴木俊哉リコーダーリサイタル〉をリリース。06年第24回中島健蔵賞。10年第1回創造する伝統賞。15年佐治敬三賞。世界初録音の〈シャリーノノリコーダー作品集〉がレコード芸術誌07年特選盤となる。www.tosiyasuzuki.com

リコーダーの魔術師が贈る、ほのぼのの愉快的ステージ



吉澤 実 [リコーダー] Minoru Yoshizawa, Recorder

Minoru Yoshizawa, Recorder

武蔵野音楽大学卒業後、ザルツブルク・モーツァルトウム音楽大学リコーダー科を修了。オルフ・インスティテュート修了後、モーツァルトウム管弦楽団のフルート奏者を務めた。NHK教育テレビ「ふえはうたう」[趣味悠々]の講師を務めた。[題名のない音楽会]他、

映画、アニメ、CD、DVD、テレビCMを数多く録音。リコーダーユニット「La Strada」を主宰。著書は音楽教科書等60冊以上。ウィーン国立音大、モーツァルトウム音大客員講師を経て、横浜国立大、武蔵野音大、東京藝大非常勤講師。静岡県芸術文化奨励賞受賞。minoruyoshizawa.sakura.ne.jp/

多彩な音色と表現力、しなやかな音楽性



田中 靖人 [サクソフォン] Yasuto Tanaka, Saxophone

国立音楽大学在学中、第4回日本管打楽器コンクール第1位。矢田部賞を受賞し卒業後は全国各地での幅広いソリスト活動で大きな注目を集める。テレビやラジオにも数多く出演。トルヴェール・ワルテットのバルトン・サクソフォン奏者としても国内外で活躍。CD〈管楽器ソロ曲集・サクソフォーン〉〈ラブソディ〉〈サクソフォビア〉〈ガーシュインカクテル〉〈モリコーネ・パラダイス〉をリリース。国立音楽大学講師、名古屋音楽大学、札幌大谷大学各客員教授。y-tanaka.sunnyday.jp

©omigraphy

圧倒的なヴィルトゥオーゾで、世界を舞台に活躍中



玉木 優 [トロンボーン] Yu Tamaki, Trombone

京都市立芸術大学を卒業後、単身渡米。ミシシッピ響首席奏者、ミシシッピ大学講師、ピッツバーグ/デューク大学大学院助手を務めたのち帰国。小澤征爾監督の東京のオペラの森、サイトウキネンオーケストラに参加。東京佼成ウインドオーケストラに在籍後、文化庁海外研修制度により渡欧。スイス・ベルン芸術大学を首席で修了後、南デンマークフィルハーモニー管弦楽団に入団。ラフォルジュルネ音楽祭（仏ナント）に出演。2018年、ソロ活動に専念するために独立。以来大陸間を行き来しながら独自の活動を続けている。現在はソロ演奏を軸にオーケストラ、室内楽、教育、執筆、プロデュースなど多岐に展開。米国S.E.シャイアーズ、willie's Custom Brass 公式アーティスト。ふくたまフェスティバル音楽監督（島根県）。www.yutamaki.com

©Patricia Soto

協カアーティスト



© アルアンフィン

新居 由佳梨 [ピアノ] Yukari Arai, Piano

東京藝大、同大学院を経て、ジュネーブ音楽院を修了。第7回モノポリ国際コンクール第3位他受賞多数。国内外の著名器楽奏者との録音・共演も数多い。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業、(公財)ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」各登録アーティストとして全国各地でアウトリーチ活動も積極的に行っている。CD「透明な風〜ラヴェル名曲集」他リリース。シュピール室内合奏団ピアノ奏者。スタインウェイ・アーティスト www.steinway.com/artists/yukari-arai オフィシャルHP yukariarai.com/



井尻 愛紗 [ピアノ] Aisa Ijiri, Piano

ロンドンとフィレンツェを拠点に活躍するコンサート・ピアニスト、スタインウェイ・アーティスト。14歳にしてワルシャワ・フィルハーモニー・ホール、ストックホルム・コンサートハウスで、コンチェルト・デビューを飾って以来、カーネギーホール(NYC)、ロイヤル・アルバート・ホール、東京オペラシティ他、世界最高峰の舞台にてリサイタルを飾り絶賛。米CNN、英BBC、クラシックFM、ハリウッド国際映画祭でも反響を呼び受賞。東京国際ピアノ協会、モンテカティーニ国際ピアノコンクール&フェスティバルの芸術監督、英国(株)SIGMARTのディレクターを務める。



松山 元 [ピアノ] Gen Matsuyama, Piano

ドイツ国立ケルン音楽大学大学院修了。A.コンタルスキー氏に師事。国内はもとより、ヨーロッパ、アメリカ、中国、韓国などで活発な演奏活動を展開。これまでにフンボルト大学客員研究員、ベルリン芸術大学客員教授等を歴任。現在、日本を代表する現代音楽奏者としても高い評価を受けている。第28回中島健蔵音楽賞受賞。K.F.ベルリン(ベルリン・フィルメンバー室内楽奏団)代表。近年では【VIP Konzert2021 ウィーン】に招聘され、リストのピアノソナタ等を演奏、絶賛を博した。



鷲見 恵理子 [ヴァイオリン] Eriko Sumi, Violin

祖父鷲見三郎及び両親もヴァイオリニストという名門一家に生まれ育つ。ジュリアード音楽院卒業。ミケランジェロ・アバド国際音楽コンクールにて優勝。国内外の主要なオーケストラと共演や音楽祭に招かれ演奏。ミラノにてトレッタ賞を受賞。鳥取ふるさと大使に就任。I. ギトリス、R. ラカトシュ等著名アーティストと共演。「激レアさんを連れてきた」「しゃべくり007」等をはじめ、各国のテレビやドラマにも出演。 www.erikosumi.com



瀧村 依里 [ヴァイオリン] Eri Takimura, Violin

第77回日本音楽コンクールをはじめ、国内主要コンクールにて優勝。東京芸術大学を首席卒業、同大学院、ウィーン国立音楽大学大学院を修了。これまでに東響、東フィル、新日本フィル他、国内主要オーケストラと共演。神戸市文化奨励賞、神戸灘ライオンズクラブ音楽賞他受賞多数。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。現在、読売日本交響楽団首席奏者。



西谷 牧人 [チェロ] Makito Nishiya, Violoncello

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程を修了。アメリカ・インディアナ大学にて研鑽を積む。帰国後佐渡裕率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団(PACオーケストラ)に第1期生として入団。ソリストとして秋山和慶、尾高忠明、佐渡裕ら各氏との共演や、大谷康子弦楽四重奏団、硬派弦楽アンサンブル「石田組」、東京グランドソノイスツ、霧島国際音楽祭への参加、テレビ朝日「題名のない音楽会」に出演など多岐に渡り活動している。東京交響楽団首席チェロ奏者及び東京藝術大学非常勤講師を務め、現在愛知県立芸術大学非常勤講師。



© 平登平

高見 信行 [トランペット] Nobuyuki Takami, Trumpet

東京藝術大学、ハンス・アイスラー音楽大学(ベルリン)を経てロストック音楽大学大学院修了。第19回日本管打楽器コンクール第2位、第75回日本音楽コンクール第1位。MDR(中部ドイツ放送)交響楽団、ライブツィヒ歌劇場管弦楽団(首席)に契約団員として在籍。ソリストとして東京フィル、神奈川フィル、岡山フィルと共演。現在大阪フィルハーモニー交響楽団、川崎室内管弦楽団各団員、(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティストとして活躍中。洗足学園音楽大学非常勤講師。大阪芸術大学非常勤講師。関西トランペット協会理事。



© 高村祐介

小川 正毅 [ホルン] Masaki Ogawa, Horn

東京藝大附属音楽高校、同大学を卒業後、桐朋学園大学音楽学部嘱託演奏員、山形交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団、劇団四季ミュージカルオーケストラのメンバー等を経て、現在トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ、ザ・スペシオーザ★アンサンブル各メンバー、「風の五重奏団」プロデューサー兼ホルン奏者。またかジュニアオーケストラ副指揮者。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。(公財)音楽文化創造認定生涯学習音楽指導員A級資格を持つ。



© Ayano Shindo

加藤 直明 [トロンボーン] Tadaaki Kato, Trombone

東京藝術大学卒業。東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を経て、現在はソリストとして、またTrio“N”や金管五重奏団Buzz Fiveのメンバーとして全国各地でコンサートやアウトリーチ活動を行う。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業、(公財)ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」各登録アーティスト。Trio“N”、金管五重奏団Buzz Five、アンサンブル東風、The Best Bee-Brass in Japan、シンフォニエッタ静岡各メンバー。流通経済大学吹奏楽部総監督。



喜名 雅 [チューバ] Masashi Kina, Tuba

沖縄県出身。東京藝術大学卒業。2004年5月ドイツ・マルクノイキルヒェン国際コンクール、ディプロマ受賞。2010年日本管打楽器コンクール第2位、2007年コンセル・マロニエ21(栃木県)第3位受賞。2013年バンドジャーナル誌にてワンポイントレッスンを1年間執筆。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。メランジェ合奏団、シアターオーケストラTokyo各メンバー。大宮光陵高等学校、洗足学園音楽大学非常勤講師。



長谷川 ゆき [ピアノ/指揮] Yuki Hasegawa, Piano/Conductor

ブラームス国際コンクール等ヨーロッパのコンクールにおいて、ピアノ・室内楽・指揮で優勝・入賞多数。20世紀初頭の実験的和声に愛着を持ち活動を展開。欧州の楽団首席奏者との室内楽、日本クロアチア音楽協会への指揮客演、委嘱編曲等を行いCD録音にも参加。2024年チェコにて新進指揮者紹介コンサートに推薦され出演予定。国立音楽大学ピアノ科、パリ国立地方高等音楽院室内楽研究科、作曲書法科、管弦楽法科、ミラノ市立クラウディオ・アバド音楽院オーケストラ指揮専攻科修了。東京/パリ在住。yukihasegawa.com



浜 まゆみ [マリンバ] Mayumi Hama, Marimba

桐朋学園大学を首席で卒業。同大学研究科修了後、アメリカシガン大学大学院留学。1999年第2回世界マリンバコンクール第2位。東京交響楽団と共演。NHK、NHK教育テレビに出演。日本をはじめアメリカ、メキシコ、台湾でもマスタークラスを行う他、国内外のフェスティバルにて招聘演奏を行う。ソロCD「Soundscapes」は各誌で高い評価を受けている。2010年マリンバ・デュオCD「The Breath of the Tree」をリリース。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業、(公財)ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」各登録アーティスト。

©Shinichiro Saigo



N響同友オーケストラ [管弦楽] Orchestra

日本国内外で最も評価の高いオーケストラの一つ「NHK交響楽団」の同友(元在籍奏者、N響から功績を認められた奏者)、名指揮者との歴史的な名演を繰り返し演奏してきた輝かしいレジェンドたちを中心とするオーケストラが、日本を代表する作曲家の一人で、N響アワーに長年レギュラー出演した池辺晋一郎を指揮者に迎え、楽しいお話しとクラシック音楽の名曲、映画音楽、NHK大河ドラマテーマ曲などでコンサートを構成。



上田 じん：トランペット
野呂 紀之：トランペット
友田 雅美：ホルン
加藤 直明：トロンボーン
石丸 薫恵：テューバ

バズ・ファイブ [金管五重奏] Buzz Five, Brass Quintet

1997年東京藝術大学の同期生によって結成。FIFAワールドカップ、日展のオープニングセレモニーにて祝賀演奏などを行う他、NHK-FM出演。『ジャパン・プラス・コンペティション2001』金管五重奏部門第1位、併せて大賞受賞。CD「Disc Buzz」「バズーカ」「Buzz plays BACH」「Buzz goes buzz!!」をリリース。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。日本を代表する金管アンサンブルとして精力的に活動中。



白井 篤：第1ヴァイオリン
山口 裕之：第2ヴァイオリン
小野 聡：ヴィオラ
山内 俊輔：チェロ

©Norikatsu Aida

クアルテット・リゾナンツァ [弦楽四重奏] Quartetto Risonanza, String Quartet

2001年11月、N響定期演奏会のロビーコンサートでの演奏を契機に、作曲家の心の響きを求めてN響メンバーにより結成。トークやレクチャーを交えた演奏会で、全国的に好評を博している。



モデトロ・サクソフォン・アンサンブル

[サクソフォン四重奏]

Modétro Saxophone Ensemble, Saxophone Quartet

2021年結成。Modétroは、modern(現代風)とréto(懐古趣味)を合わせた造語。バロックから現代までのレパートリーを網羅し、その魅力をサクソフォンで伝えたいという意が込められている。CD「Realize」をN.A.Tよりリリース。令和5・6年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。

飯塚 恭平：ソプラノサクソフォン
西田 剛：アルトサクソフォン
森田 奈旺：テナーサクソフォン
歌頭 諒：バリトンサクソフォン



栗原 正己：リコーダー、ピアニカ、
アンデス 他
川口 義之：リコーダー、打楽器、
サクソ、ウクレレ 他
関島 岳郎：リコーダー、テューバ、
口琴 他

栗コーダーカルテット [リコーダーアンサンブル]

Kuricorder Quartet, Recorder Ensemble

1994年結成。NHK Eテレ「ピタゴラスイッチ」や、通称「やる気のないダースベイダーのテーマ」などでもお馴染みのインストゥルメンタル・バンド。映画、テレビ、舞台、CMへの楽曲提供を含め、参加CDは100を超える。2014年に20周年コンサートを杉並公会堂にて開催。2015年より3人編成に移行。ギターやリコーダーに多彩なゲストミュージシャンを迎え、またボーカリストとの共演を行うなど、よりフレキシブルに活動中。



吉田 良一郎：三味線
元永 拓：尺八
美鵬 直三朗：太鼓・鳴り物
市川 慎：箏・十七絃

WASABI [新・純邦楽ユニット] Japanese Traditional Unit

吉田兄弟の兄、吉田良一郎を中心に結成された新・純邦楽ユニット。ユニット名は、「WA」=和、「SABI」=サビ(盛り上がり)という意味合いから命名。2012年にデビューアルバム「WASABI」をリリース。2014年に2nd ALBUM「WASABI 2」、2019年6月には「WASABI3」をリリースしている。

電子チケット

PRO ARTEKET

プロアルテケト

初期費用
導入費用無し!



当日はQRコードを
端末で読取り



コンサートのほか
配信イベントにも対応

詳しい資料は...



ご相談はプロアルテムジケまでお気軽にどうぞ

PLUS+WorkShop

プロアルテムジケの企画では、次代の音楽文化を担う子どもたちや、市民の方々を対象に、アーティストによるワークショップやマスタークラスをコンサートとともに開催することができます。

世界で活躍するアーティストから直接指導を受けられる特別体験を、公演にあわせて検討ください。



元ベルリン・フィル首席トランペット奏者
G.タルケヴィ氏によるレッスン

プロアルテムジケ(ラテン語で、音楽芸術のために)1985年の創立以来、国内外の一級アーティスト連のプロモーションやコンサートに付随するクリニックの企画運営をしております。リサイタルからオペラまで、幅広い舞台芸術の公演実績を通じ、アーティストの芸術表現がより多くの聴衆の感動に繋がる環境を創造して参りました。

特に、管楽器分野においては他に先駆けてエキスパートとしての企画を全国展開し、将来の聴衆創造に努力しています。

- 業務内容
- 演奏会、舞台公演の企画、制作、開催
 - アーティストのマネジメント業務
 - 海外アーティストの招聘、マネジメント業務
 - 音楽祭の企画、制作、運営、マネジメント
 - 出版物の企画、発行、販売
 - CD、DVDの企画制作、販売
 - 動画の企画制作、配信、販売

プロアルテムジケ PRO ARTE MUSICAE

www.proarte.jp info@proarte.jp

TEL: 03(3943)6677 FAX: 03(3943)6659

〒112-0013 東京都文京区音羽1-20-14-5F